

平成28年度 施策評価表

作成年月日：平成29年10月10日	課・グループ名	産業振興課商工観光グループ
-------------------	---------	---------------

施策名	①地域交流の場となる商店街づくり 2-3-①		
1. 施策の現状分析及び展開方向			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	2. 地域ぐるみで支え育てる活力ある産業経済のまちづくり	(3) にぎわいのある商店街	①地域交流の場となる商店街づくり
①施策のねらいと展開方向	●商工会と連携し、地域住民が集い、賑わい・交流の場となる商店街づくりを支援します。 ●商工会が実施する町の活性化につながるイベントなどの地域振興事業に対して支援します。		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	●商店街の各店舗については、長引く景気低迷に伴い消費者の購買意欲が低下しており、後継者不足による会員減少など、厳しい状況ですが、商店街で独自に事業を行い消費者の集客に努めています。 ●多様化してきた消費者ニーズへの対応が難しく、購買力が町外へ流出している状況です。 ●大型店舗の進出については、用地取得はされていますが、建設に至っていない状況です。	●にぎわいのある商店街を目指し、各商店街独自の事業を行い、さらなる集客を図る必要があります。 ●住民を商店街へ導くことができるような地域交流の場となる商店街づくりが必要です。	

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況							
① 成果指標	設定の意図			まちづくりの成果指標名		数値化	
	地域交流の場となる商店街・にぎわいのある商店街を目指し、各商店街が工夫した事業を展開しながらさらなる集客を図る手段として、商工会会員数を設置している。			成果指標 (総合計画・施策評価)		○	可能
				商工会会員数 (賛助会員・定款会員除く)			不可能
				代替指標 ※成果指標がない場合			未計測
							指標の設定
			可能				
			不可能				
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。							
② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由
		H25	H26	H27	H28	H28	
目 標	人	114	114	115(増加)	115	115	商工会員の状況については、新規加入5件に対し、退会2件となった。(退会内訳：廃業2件)
実 績	人	107	104	105	108	108	
達成率	%	93.9	91.2	91.3	93.9	93.9	
評価視点		評価結果				理由、課題・問題点	
③ 施策の達成状況		A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)				施策の達成度	商工業の振興を図るための事業に対しての支援や、商工会会員の加入促進並びに加入継続の取り組み、空き店舗対策など商店街が持続できる取り組み、組織強化を引き続き図る必要がある。
		B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)					
		C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)				B	
		D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)					

3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】事務事業の種類	【必要性】事務事業の必要性	【妥当性】町の関与の妥当性
(1) 自主事業(自主)	(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの	(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業
(2) 施設管理事業(施管)	(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの	(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業
(3) 経常的事務(経常)	(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの	(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業
(4) ハード事業(ハード)		

①事務事業評価結果										事業費(千円)	施策への貢献度 <高い> <普通> <低い>	
事業番号	事務事業名	種類	所管課名	成果指標	評価年度(H28)		事務事業の内容	必要性	妥当性			事務事業評価結果(方向性)
					目標	実績						
1	商工会運営助成事業	(1)	産業振興課	商工会会員数 (賛助会員・定款会員除く)	115	件	■巡回・窓口相談による経営支援→経営経済安定化に向けた経営相談 ■組織機能強化→①商工会員・各部員加入の推進 ②中小企業総合振興資金利子補給制度③地域交流事業 【経営改善普及事業】 ●商工業に関する相談・支援→巡回・窓口指導 ●金融斡旋→制度融資 ●青年部・女性部の指導→活動の推進 【地域振興事業】 ●総合振興事業→①商工会ふれあいまつり ②ふれあい商品券 ③なんぼろ盆踊大会 ●金融・税務・労務指導強化対策事業→①融資制度の斡旋 ②青色申告制度の普及促進 ●商業・工業・サービス業振興事業→なんぼろスマイルフォトコンテスト(H25新規)	Ⅱ	Ⅱ	1 現状のまま継続	7,784	高い
					108	件					8,415	
年度別施策全体の事業費合計(千円)												
										H28事業費	7,784	
										H29予算	8,415	

②H29に実施した新規事務事業					
実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H29予算(千円)	
1					
2					
3					

評価視点	評価結果	理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	商工会運営事業(経営改善事業、地域振興事業)に対し、引き続き町として支援協力を行う必要がある。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)	
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)	
	事業構成の妥当性 A	

4. 今後の方向性 ※外部評価(行政評価委員会)

①総合評価 (今後の展開、事業の見直し等) 委員会評価	特に課題とすべき指摘事項はない。ただし、本年からビューローで取り組まれている活動を拡げていただきたい。	事業の方向性 優先度 A~D (ランク)	事業番号					平成29年度以降の予算の方向性
			A					
			B					
			C	1				
			D					
						拡大		
						○ 維持		
						縮小		